

令和5年度 第2回 香芝市子ども・子育て会議 議事要旨

【開催日時】	令和6年2月15日(木) 午前10時00分～11時30分
【場所】	総合福祉センター 3階 会議室1
【出席者】	加藤会長、横山副会長、岡本委員、奥委員、楠瀬委員、赤土委員、出川委員、畑山委員、峯委員、森下委員、(計10名)
【事務局】	福祉部長、健康部次長、福祉部次長兼児童福祉課長事務取扱、子ども課長、保育課長、保健センター所長、児童福祉課員、保育課員
【傍聴人】	0名
【議題】	第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート結果の報告

◆ 第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート内容結果の報告  
〈概要〉

第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート結果を報告し、そこから読み取れる今後の教育・保育・子育て支援への需要について考える。

～未就学児 保護者アンケート～  
〈事務局よりアンケート結果の報告〉

〈質疑・応答〉  
【質疑・意見1】  
(委員)

より深く考えるのであれば、近隣の市町村と香芝市との比較が必要である。  
また、「子育てを楽しんでいるか、負担と感じるか」という問いについての回答と経済面や就労状況に関する問いの回答を関連付けて分析することで、より具体的な指針が見えてくるのではないかと。  
問16について、500万円未満と500万円以上で回答の数字の幅が異なっているが、統一した方が分析しやすくなるのではないかと。

(会長)  
今後検討をお願いします。

【質疑・意見2】  
(委員)

有効回答が全体の55.1%という結果は、非常に高いと感じる。  
このようなアンケートは以前から行っていたものなのか。

(事務局)  
第2期策定時にもアンケートを実施しており、前回の回収率は60.4%であった。  
(委員)

子育て世帯へのアンケートということで、スマートフォンを持っている方がほとんどである。

香芝市の公式LINEを利用してアンケートを行った方が、より多くの回答を得ることができ、より実態に近い結果を得られるのではないかと。

(事務局)

今回のアンケートの自由記載欄でも同様の指摘があった。

これらを踏まえて、第4期のアンケートについては、そのような形での実施が当然の条件になる可能性がある。

(会長)

今回については、紙ベースでの実施のおかげで地区や年齢などについて香芝市を網羅する形で実施できたのではないかと。

これについては良い点悪い点があるので、今後検討すべきだ。

### 【質疑・意見3】

(委員)

市や担当課で抱える子育て支援に係る課題を聞いた上でアンケート結果を読み取ること、より深い議論が出来る場となるのではないかと。

(事務局)

もともと本会議は、事業計画策定を目的とした会議という位置づけからスタートした。

しかし、この場が子育て施策全般についての協議の場となればと考える。

そのため、事業計画策定を軸としながら、そのような位置づけで考えていきたい。

### 【質疑・意見4】

(委員)

問10で子育てに関する相談相手として35%の方が「保育士・幼稚園教諭」と回答しており、重要な役割を担っていることが読み取れる。

問21や問22で、保育所や幼稚園に求めることとして「地域とのつながり強化」や「校区内の小学校との連携強化」がとても低い数値だったことは予想と異なるものだった。

### 【質疑・意見5】

(委員)

アンケート結果も踏まえた、香芝市として現在の子育て支援に係る懸念事項はどういったものか。

(事務局)

保育士不足の中、国から配置基準の見直しの情報が入っているが、保育士の就労状況の改善は必要である一方、保育士の確保が課題である。

～小学生児童 保護者アンケート～

〈事務局よりアンケート結果の報告〉

〈質疑応答〉

【質疑・意見1】

(委員)

アンケートを行うにあたり必要な市としてのビジョンやミッションが不明確である。何が目的で、どのような目標のもと進んでいるかを明示することが先ではないか。そのようなものの共有は市長から職員になされているのか。

(事務局)

市長より、子育てに関する施策に力を入れてほしいという話は職員に直接ある。市長に対して市民の意見を集約して協議する場において、今後はこの会議の意見も市長に報告していきたい。

【質疑・意見2】

(委員)

アンケート結果をいろいろな方が見られることはあるのか。

(事務局)

今回の集計結果についてはホームページに掲載することで、市民の方にも見ていただくことができます。

【質疑・意見3】

(委員)

子ども達の困りごとにも着目してもらいたい。このアンケートは大人目線のものだが、子どもの声も聞くことで、そこからすくい上げた意見から子どもの幸せにつなげていく。それが大人の幸せにつながっていくこともあると思う。

(事務局)

子ども達の意見を聞くことは、国からも示されており、今後、中学生へのアンケートを予定している。

【質疑・意見3】

(委員)

現在の香芝市内における不登校の生徒数などを教えてほしい。

(事務局)

所管課に確認後、報告させていただく。

【質疑・意見4】

(委員)

小学校の移転問題や再編に関して、なぜこのようなアンケートを取らないまま進んでしまったのか。子ども・子育ての案件として今後はそういった際には、関連する人の意見を聞いていただきたい。

(会長)

これについては担当部局が異なるため、事務局から担当部局への情報共有をお願いしたい。

(委員2)

子ども・子育てに関連する会議であるため、本会議には教育委員会も出席すべきではないか。

(事務局)

本会議の趣旨は未就学のお子様の保育・教育を主としており、小学校のお子様では、保育のカテゴリーである学童保育については協議するが、教育に関することは、教育部局での会議体があるようなので、このご意見について教育部局と話しはさせていただくが、会議体の趣旨が異なるということをご理解ください。

【質疑・意見5】

(委員)

問10に関して気軽に相談できる相手として、行政のサービスの割合が低い。

サービスの広報や周知がまだまだ足りないのではないか。

(会長)

今後検討をお願いします。

#### ◆その他

##### ① 保育課よりスクルドエンジェル保育園についての説明

⇒香芝市には低年齢児の保育を希望する家庭が多いため、令和6年4月から低年齢児の小規模保育園を拡充する。

3歳児以降は、連携施設として下田こども園を予定している。

##### ② こども課より関屋幼稚園の休園について説明。

⇒6月7月に在園児保護者や近隣住民への説明、広報での周知を行う。

来年度以降、3歳児の受け入れを順次中止し、令和8年度末の休園を予定している。

##### ③ 今後の会議スケジュール等について事務局より説明